



# 東陽の旋風<sup>かぜ</sup> ～自律貢献～

令和6年1月10日（水）No 34発行  
文責：松本 卓也

## 今、一人一人ができること

思うこと、寄り添うこと  
できることをやっていくこと  
一生懸命取り組むこと

1月1日（月）、最大震度7の令和6年能登半島地震が発生いたしました。お亡くなりになられた方々の冥福を祈り申し上げます。お亡くなりになられた方々の皆様が、令和2年7月豪雨の際には、人的支援や物資等、私たちは多くのご支援をいただきました。温かな励ましや人と人とのつながり、どれほど勇気づけられたかわかりませぬ。箱根駅伝（箱根駅伝）で、2年ぶり7度目の総合優勝を飾った青山学院大学の原監督は、「今、一人一人ができること」について問かけられ、「まずは思うこと、寄り添うこと、大事にして、個人としてできることをやっていければいい」と答えています。学生はこれからは、大学受験やスポーツ活動も始まっていますので、そこで一生懸命取り組むことが、勇気や元気をお伝えすることができるのかなと思います。」と自身の考えを語りました。9日（火）の始業式では、「今度は私たちが勇気や元気を伝えるときです。」と私達の思いを伝えました。大きな災害を経験した私たちがだからできる支援があり、私達の「思うこと、寄り添うこと、できること」と、子どもたちと一生懸命に取り組むこと。私たち一人一人ができることを、子どもたちとも一緒に考えていきたいと思います。



令和6年  
あともう一步  
踏み込む

### 一生懸命取り組むこと① ～実力審査～

9日（火）・10日（水）、実力審査を行いました。冬休み中も目標を持ち努力してくれたと思います。上記の原監督は、「人を育てる点で重要なこと」として、「勝った喜びや負けた悔しさは、五感で感じるもの。経験が心を大きく成長させるのではないのでしょうか。勝ち負けの経験も『勝った＝良いこと』『負けた＝だめなこと』と教えるのは疑問です。負けても精一杯チャレンジしたことに、親は『金メダル』をあげてほしい。」と述べています。仮に結果が出なかったとしても、努力して得られた経験は、未来へのバネになります。努力を続けることが大事です。Fight!



### 一生懸命取り組むこと② ～八代マラソン大会～

12月23日（土）、球磨川河川敷スポーツ公園において「第16回八代中学生マラソン大会」が開催されました。本校からは、バドミントン部、男子バレー部を中心に、14名の生徒が参加しました。各自、自分の限界に挑戦する走りを見せ、上位3名の記録で争う女子団体の部で3位の好成績を収めることができました。部活動での練習はもとより、日頃の朝ランニング等の努力が実りました。



### 【編集後記】人と人とのつながり、顔の見える関係づくり

▼熊本県は、5日（金）、地震で甚大な被害を受けた石川県へ職員9人を派遣しました。各行政機関を始め、消防、警察、自衛隊等、被災地における救命・救助・復旧・復興活動などにご尽力されている方々に深く敬意を表します。  
▼阪神・淡路大震災では、倒壊した家屋の下敷きになって自力脱出できなかった人のうち、約8割は家族や隣近所の住民によって救助されました。自助・公助・共助の中の「共助」の力を高めることが、地域の安心・安全の基盤をつくることに繋がります。▼「地域とともにある学校」として、日頃から地域の皆様方と顔の見える関係づくりをこれからも進めてまいります。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名 ( )